

6 主な事業に関する調べ

事業名	部活動の地域移行推進事業 ※対象は中学校									
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等										
(単位：千円)										
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額					
60,199	▲13,811	46,388	34,347	0	12,041					

1 主な事業の実施状況

区分	内容、実施の状況
地域移行に係る推進体制整備事業	県において、関係団体・関係者と地域連携・地域移行に係る連絡調整・指導助言等を行う部活動コーディネーターの県への配置や部活動在り方検討会を開催した。また、市町においてコーディネーター配置や協議会を設置する場合の経費の一部に対して支援した。
地域クラブ活動支援	休日の部活動の地域移行を推進するため、地域クラブの初年度の立上げに係る経費を補助する市町村に対して経費の一部を支援する補助制度を設けたが活用はなかった。 (予算要求時は9クラブの活用を想定)
部活動指導員配置事業	直ちに地域移行が困難な場合における生徒の活動機会を確保するとともに部活動指導に係る教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を中学校（義務教育学校後期課程を含む。）に配置する市町に対して経費の一部を補助した。 (予算要求時は194人を想定)
外部指導者活用事業	直ちに地域移行が困難な場合における生徒の活動機会を確保するとともに部活動指導に係る教員の負担軽減を図るため、外部指導者を中学校（義務教育学校後期課程を含む。）に配置する市町に対して経費の一部を補助した。 (予算要求時は63人を想定)

<参考>中学校における部活動指導員、外部指導者の配況

<部活動指導員>

	R2	R3	R4	R5	R6
市町(組合)数	12	13	14	14	14
配置数	69	112	131	158	189

<外部指導者>

	R2	R3	R4	R5	R6
市町(組合)数	16	17	15	13	13
配置数	53	50	42	44	59

2 事業の成果（改善状況）・課題等

- ・市町において地域移行に係る推進体制が整い、1市1町で7クラブの地域クラブ活動が実施された。
- ・市町の協議会に県部活動コーディネーター等が参加して協議したこと、多くの市町で地域移行の取組について検討が進んだ。
- ・部活動指導員の単独指導による教員（顧問）の指導時間の軽減となった。
- ・外部指導者配置による顧問の指導力向上、専門の種目でない教員（顧問）の負担軽減につながった。
- ・指導者の質・量の確保や生活困窮家庭への支援の在り方など、部活動の地域移行を推進していく上で様々な課題に対して、部活動あり方検討会等を通じて市町と連携して対応策を検討・研究していく必要がある。

※40%以上の減額となっている理由

市町村による中学校部活動指導員配置事業（国庫補助事業）の活用実績が当初の想定より少なかつたため。

事業名	運動部活動推進事業 ※対象は高等学校									
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等										
(単位：千円)										
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額					
11,942	△700	11,242	9,418	0	1,824					
1 主な事業の実施状況										
区分	内容、実施の状況									
外部指導者活用事業	専門的指導力を有する顧問がいない場合や、より高い専門的指導を必要とする運動部に対して、地域で活動する有能な人材を外部指導者に委嘱し、運動部活動の充実を図った。 (予算要求時は 96 人を想定)									
部活動指導員配置事業	県立高等学校に部活動の単独指導等を行う部活動指導員を配置し、教員の部活動指導における多忙解消、負担軽減及び部活動の充実を図った。(予算要求時は 59 人を想定)									
スポーツ指導者研修会	運動部活動顧問、部活動指導員、外部指導者、スポーツ少年団指導者等を対象とした研修会を 4 回開催した。									
鳥取県高校生冬山登山計画審査会	高校生の冬山登山に係る計画書の事前審査を行った。									
<参考>高等学校における部活動指導員、外部指導者の配置状況										
<外部指導者>										
	R2	R3	R4	R5	R6					
学校数	21	21	20	19	21					
部活数	81	81	76	75	88					
配置数	83	83	79	79	89					
<部活動指導員>										
	R2	R3	R4	R5	R6					
学校数	16	19	21	20	20					
部活数	30	38	44	53	59					
配置数	30	38	44	53	59					
2 事業の成果（改善状況）・課題等										
<ul style="list-style-type: none"> 競技経験等のない教員が顧問をしている、又は部員が多い運動部に外部指導者を配置し、複数の指導者から専門的な技術指導を受けることにより、生徒の運動部活動の充実（専門性の向上等）を図ることができた。 スポーツ指導者研修会を通じて、ガイドラインの周知と点検を行うとともに、スポーツ傷害の予防や指導者に必要なコミュニケーションスキルについて理解を深めることができた。 部活動指導員の単独指導・単独引率等により、顧問の部活動指導時間が削減され、結果として時間外業務の縮減を図ることができた。 競技経験のない教員が顧問をしている運動部に外部指導者の配置を希望しても人材不足のため配置できない場合などがあるため、スポーツ協会等の関係機関とも連携しながら外部指導者や部活動指導員の人材確保に努めていく必要がある。 										